

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電気電子4年	科目コード	47011223
科目名	日本文化史 Japanese Cultural History				
担当教員	二星 潤				
単位数(時間数)	必選 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	日本の文化の特色についての認識を深めることにより、歴史的思考力を培う。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考	履修条件として、歴史の基本的な知識(本科1年「世界史」・2年「日本史」レベル)を持っていることが望ましい。それらの知識が不足している場合は、各自が事前に補っておく必要がある。				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	日本文化史の学び方	2	日本文化史を学ぶ目的を理解する。		
2	日本文化のはじまり	2	日本文化の発生を考察する。		
3	縄文文化と弥生文化	2	考古資料から縄文・弥生文化の形成を考察する。		
4	古墳文化	2	古墳の変化から社会の変容をとらえる。		
5	飛鳥文化と白鳳文化	2	大陸文化の受容を理解する。		
6	天平文化	2	天平文化における政治性と国際性を理解する。		
7	唐風文化と国風文化	2	唐風文化と国風文化を比較する。		
8	鎌倉文化	2	鎌倉文化の新しい気運を理解する。		
9	室町文化	2	武家文化と公家文化の関係について考察する。		
10	桃山文化と南蛮文化	2	文化の持つ幅広い国際性を理解する。		
11	元禄文化	2	経済の発展と文化の関連を考察する。		
12	化政文化	2	文化における近代化の芽生えを理解する。		
13	近代文化	2	近代文化の二元性をとらえる。		
14	市民文化	2	都市化や国民生活の変化を理解する。		
15	まとめ	2	日本文化とは何かを考える。		
<b>学年末試験</b>					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	授業の内容と配布資料の情報を関連づけて理解した上で、論述問題をまとめることができることにより、学習・教育目標の(A-1)の達成とする。				
成績評価	学年末試験(70%)とレポート(30%)で(A-1)を評価し、6割以上の得点で合格とする。				
教材	教科書: プリントを配布する。 参考書: 授業で随時紹介する。				
オフィスアワー	木曜日 16:00 ~ 17:00, 管理・一般科棟3F西 二星潤教員室				